



地方通信

北海道方面

土木匡救工事は進む

札幌郡江別町の貧困救済戸数は八百四十六戸にして、目下町役場に於て日々米喰を供給しつゝある戸数は二百四十八戸で道廳直接の工事費は二萬四千三百七十圓之れに國庫補助費を加算すると三萬四千八百四十圓に達するが、之を救済戸數に割充つれば一戸當り四十圓餘りで一昨年の凶作救済の一戸當り七十九圓に比較すると至つて僅少で豫定の工事は着々竣成に近づいて居るから一家五六人を抱へて居る困窮農家が六月

地方通信

末の蒔付季まで飢を凌ぐためには今一思案を要するものがあらう、現に政府米は窮農に對し配給され居るものゝ之れは給與にあらず貸付なるが故に實際の懐勘定は益々マインスとなる譯であるから次の匡救道路事業費として町當事者は約一萬五千圓を計上して窮民生活苦の重壓を緩和する案を立て居る。

東北方面

野田産業道路着手

宮城縣南郷村の素封家野田慎一氏は桃生野田村地方多年の要望を實現せんとし、南

郷村から一直線に北村大澤金埴に接続する産業道路を開鑿するに決し既に諸準備を了した、同路線は將來志田、遠田、桃生、牡鹿四郡を連絡する樞要道路となるので關係各町村では此の計畫に對し大に感謝の意を表して居る。此の工事中最も困まるのは土砂採取場のないことであるが、之を知つた北村々民は村内の山嶽より自由に採取利用されたしと申出たので完成は割合に早く五月の田植前となる模様である。目下農閑季に入り地元町村の匡救事業が一段落着いたため、之からの仕事を漁るに苦心の折柄、此の道路工事により北村と南郷村附近の失業者が就役されるので同地方民は失業受難から完全に救はれるであらう。

潮見橋の開道式賑ふ

志津川町の匡救工事として架橋中の潮見橋は愈々美事に竣成したので二月十一日紀元節の佳辰を卜し、目出度開道式を舉行した、橋長は四十二米、幅員三米六〇の木板

橋であるが、基礎工事並に橋脚等は何時にても鐵骨乃至混凝土等に模様替される設計であつて佐沼土木工區管下匡救事業中最も苦心と注意とを拂つた工事である。

大貫橋見事に竣工

登米、本吉兩郡山林地帯を直接東北本線に繋ぐ縣道登米田尻線は中間に於て迫川に遮斷されて居たが、これを結び付ける大貫橋の新設工事は愈々竣工したので通行を許した所、同方面一帯は非常な利便を得るに至つたので、關係町村では之を感謝記念すべく來る五月五日の菖蒲の節句頃を期し開通祝賀式を行ふべく各町村聯合協賛會の組織を見最も意義あらしめやうとしてゐる。

北越方面

農村振興の道路事業

新潟縣南蒲原三條土木派遣所管内に於ける昭和七年度の農村振興土木事業は南蒲十

九箇町村に亘り總工事費七萬四千二百圓で昨年九月月上旬着手以來各町村當局と共に熱心に工事の進捗を圖つた結果三條町北三條驛前より興野線に接続する開鑿道路及新潟村地内の未完成道路二線を除く外は全部既に完成し、前記二線も亦大いに進捗して其の完成目前に迫まつて居る。

情けて出來た道路改修

新潟縣の稻葉地方課長は常に地方課の仕事といふものは町村監督といふよりも相談相手でなければならぬと言ふ親切な温たかい氣持が町村に通じて滞納の弊風を一掃せしめ更生の途に立たしめたといふ美くしむ話がある。南魚沼郡五十澤村は管て十餘年前まで世の不況も關知せぬ山村の安樂境であつたが、數年來周圍より襲ひ來る不景氣風は此の地方をも見逃さず村民の收入激減して諸税の未納漸増するに至つたので縣庶務課から吏員を派遣して滞納の整理に盡力して相當額を纏めたが一方道路改修の負擔

金二千七百圓を納め得ず惜しくも工事中止の運命に逢着せんとするに至つたので村民は甚だ遺憾として協議の結果村長より稻葉課長に事情を陳べて此の打開策を相談した處、事情眞に氣の毒に思ふから村が誠意を以て進むならば他より一時無利子に近かき條件で借りて工事完成に盡力しやうと情ある言葉に村民一同は感激し、自分等の村の道に要する金は自分等で工面しやうといふ事になり村民協力して負擔金を納め工事の續行を見るに至つたとは聞くさへ氣持のよい談しである。

關東方面

兩大師橋の開通式

二月十九日午前十一時から東京市下谷區上野公園の中央を東西に本郷區と淺草區とを繋ぐ兩大師橋の開通式が舉行された、此の日地元の下谷は勿論、本郷、淺草からも代表小學生が、一千餘名長蛇の列を正して

『祝開通』の旗を打ち振りながら樂譜も勇ましく先頭の「嗚呼滿洲の大平野」に歩調を合せて渡橋を了し紅白の鶴の子を配布し開通萬歳を三唱して解散したのは正午であつた。此の橋下は東北本線常磐線信越線等の外山手電車線等間斷なく往來し從來頗る不便であつたが本橋の完成で上野公園と下谷淺草及本郷方面は大に利便となつた譯である。橋型はスラブ式で長五百三十尺、高三十二尺、幅二十六尺で十五分一句配、車坂方面は長三百七十尺の間幅二十四尺で十分一句配の近代式構造であると鐵道省自慢の陸橋である。

東 海 方 面

犬名線の工事進捗

總工費十萬圓、犬山町代表的の時局匡救土木事業、名古屋犬山線八間道路の延長工事は毎日三百餘の失業者夫が出役して工事も着々進捗して居るが年度末も迫まつたの

で更らに人夫を増員して晝夜兼行三回交替とし豫定の本月中に竣工せしむることになつて居る。郷瀬川上流より土砂運搬のため松本町―余坂町間にトロツコ用のレールを敷設し小型の瓦斯機關車がトロツコ數十輛を牽引して梅花の間を走る有様は正に三年の珍春風景である。

愛榮線も工事進む

丹羽郡古知野町の安藤町長父子が時局に感じて同町道路改修の爲め寄附した一萬四千圓で、新町一丁目縣道を起點とし葉栗郡宮田町飛保地内へ貫く新道路愛榮線の工事は着々進工して居るが此の延長は三百六十間、幅員五間で従事人夫は男女に拘らず困窮せる家庭より選び町内より飢渴の聲を除くに力めて居る。

四日市の舗装成る

三重縣四日市驛前より諏訪神社に至る諏訪新道の舗装工事は四日市土木出張所に於

て先頃工事中であつたが此程に至り竣工を見るに至つたので、更に之と接続延長線である伊勢電諏訪驛前より北町角に至る路線を八年度事業としてアスファルト舗装を施行せんと準備を進めてゐる。

近 畿 方 面

自然美保存の道路

各地に相次で開通する新國道乃至府縣道はいづれも出來得る限り舊來の自然美を損傷せぬやう考案し、山肌の削取りから一石の風致にまで細心の注意が拂はれるに至つた事は眞に欣快とするものである。最近全通した神明國道に於ても路上に老松十餘株を残し周圍には保育の考案を加へて舗装し、また大阪府下に僅か六百間の路面上に百八十八本といふ夥しい松樹を残して舗装全通の筈である。大阪から和歌山へ幅員十五間の産業道路として國道十五號線の改築は内務省土木出張所の手で着々工事の進

め多少遅延するであらう。

中國方面

志戸坂隧道起工式

中國山脈を貫通して陰陽産業界に一新紀元を劃する爲めの岡山縣英田郡西栗倉村大字坂根より鳥取縣八頭郡山鄉村大字駒返に通ずる延長三千五百米の志戸坂隧道起工式は十二日正午八頭郡山郷小學校に於て嚴肅裡に舉行された。鳥取縣からは館知事、岡山縣からは知事代理長谷川土木課長以下兩縣より多數の縣會議員列席、型の如く神職の奉仕にて修祓、降昇神の儀、獻饌、玉串奉奠、館知事の式辭、來賓總代米原貴族院議員の祝辭演説等ありて午後二時式を終つた、この日同地方では各戸國旗を掲揚して光明に輝く前途を祝福した。

明姫國道完成近し

工費二十五萬圓を要して昨夏八月着手した明姫國道第二期工事(米田——阿彌陀間)は着々工事の進捗中で全線三千八百六十米の大部分は竣成も近づいて居るが寶殿驛西の跨線橋は目下工事中であつて、路面の鋪裝は一日百米宛コンクリート仕上げとするのであるが跨線橋の前後は同橋工事中の爲

し左記の通り道路保護團と修路工夫を表彰した。

表彰

飯石郡西須佐村道路保護團

大正十五年五月二十八日道路保護獎勵規程ヲ發布スルヤ率先本團ヲ組織シ爾來例年定期ニ有効適切ナル作業ヲ執行スルノミナラス常時道路ノ保護ニ努メ其ノ成績特ニ優良ニシテ他ノ模範トスルニ足ル仍テ金五拾圓ヲ授與シ之ヲ表彰ス

昭和八年二月十一日

鳥根縣知事正五位勳四等

福岡正樹

表彰

松江管區修路工夫 青山 正吉

廣瀨管區 原田 正藏

三成管區 石飛市五郎

今市管區 三成員三郎

川本管區 香川 要助

濱田管區 齋藤又四郎

益田管區 藤井 菊市

道路關係者表彰

島根縣では二月十一日紀元節の辰を卜佳

津和野管區 立田 完一

常ニ勤務ノ成績優良ニ付之ヲ表彰シ賞牌一個ヲ賞與ス

將來益々能率増進ニ努力スヘシ

昭和八年二月十一日

島 根 縣

三成大東線改修

島根大東町多年の宿望であつた縣道三成大東線の改修工事は時局匡救事業として敷地買収及補償等に關し地主との交渉も圓滑に進捗し諸準備も整ふに至つたので去る二十日午前十時から大東町後敷地で起工式を舉行した、定刻加多神社々司の奉仕で修祓降昇神、獻饌、玉串奉奠等型の如く終り正午參列者は役場樓上にて簡単な午餐を共に午後一時散會した。

九州方面

福岡の時局匡救事業

地方通信

福岡縣の七年度失業應急事業費總額は二百三十五萬圓で此のうち百四萬五千圓は既に内務省より認可され目下夫れ、竣成に近づきつゝあるが農村振興道路と産業開發道路とは併行して鋭意進工に力めて居る側ら失業救濟事業の殘餘の道路改良工事費百八萬八千圓(勞働者延人員二十三萬九千人)二十二個所に及むで居るので縣土木課では非常な緊張を以て督勵に力めて居る。

壽橋開通祝賀式

福岡縣朝倉郡杷木村より同縣浮羽郡大石村に通ずる筑後川放水路上に架橋した其名も目出度き壽橋は曩に竣成したので去る十日正午から同橋上で開通式は舉行された、同橋はモダインな鐵筋混凝土造で橋長二百六十米、幅員七米、工費二萬四千圓、使用延人員九千五百餘人である。此日は寒氣嚴しかつたので、終了後一同は原鶴温泉の小野屋に參集して祝宴を開催し各自隠くし藝などの披露あり近來稀な盛況であつた。

柳河の新道開通式

福岡縣山門郡沖端村振興土木事業として大城開より矢留に至る新道路は曩頃竣工したので去る七日午前十一時から南端の廣場で神職の奉仕にて修祓、昇降神、獻饌、玉串奉奠等順次進みて正午開通式を終り來賓は同地の濱の家で午餐會を催し午後二時萬歳を三唱して散會した。柳河土木管區内では此の道路が最初の竣工でありまた地方一般から非常に喜ばれて居るのである。

技友會映畫の夕

九州帝大工學部大講堂に於て二月十一日福岡縣土木課技友會主催の下に、新知識吸收を圖る目的で阪神國道、京阪國道、明姬國道、歐米都市の道路等映寫會を催した。九大からは君島、吉田、久野諸博士及多數の學生、縣市からも工事關係者が數十名來觀した。